### 発信人 日本国特許庁(国際予備審査機関)

出願人代理人

髙橋 秀一

あて名

〒 532-0024

大阪府大阪市淀川区十三本町2-17-85 武田薬品工業株式会社 知的財産部

PCT

<u>受付</u> '01.2.-8 知的財産部

国際予備審査報告の送付の通知書

(法施行規則第57条) [PCT規則71.1]

発送日

(日.月.年)

06.02.01

出願人又は代理人 の書類記号

2639WOOP

重要な通知

国際出願番号

PCT/JP00/05639

国際出願日 (日.月.年)

23.08.00

優先日

(日.月.年) 24.08.99

出願人 (氏名又は名称)

武田薬品工業株式会社

t (\* 15 j. 15

- 1. 国際予備審査機関は、この国際出願に関して国際予備審査報告及び付属書類が作成されている場合には、それらをこの 送付書とともに送付することを、出願人に通知する。
- 2. 国際予備審査報告及び付属書類が作成されている場合には、すべての選択官庁に通知するために、それらの写しを国際 事務局に送付する。
- 3. 選択官庁から要求があったときは、国際事務局は国際予備審査報告(付属書類を除く)の英語の翻訳文を作成し、それをその選択官庁に送付する。

#### 4. 注 意

出願人は、各選択官庁に対し優先日から30月以内に(官庁によってはもっと遅く)所定の手続(翻訳文の提出及び国内手数料の支払い)をしなければならない(PCT39条(1))(様式PCT/IB/301とともに国際事務局から送付された注を参照)。

国際出願の翻訳文が選択官庁に提出された場合には、その翻訳文は、国際予備審査報告の付属書類の翻訳文を含まなければならない。

この翻訳文を作成し、関係する選択官庁に直接送付するのは出願人の責任である。

選択官庁が適用する期間及び要件の詳細については、PCT出願人の手引き第Ⅱ巻を参照すること。

名称及びあて名

日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 権限のある職員

特許庁長官

2 J | 9 4 0 8

電話番号 03-3581-1101 内線 3250

## 注意

1. 文献の写しの請求について

国際予備審査報告に記載された文献であって国際調査報告に記載されていない文献の

特許庁にこれらの引用文献の写しを請求することができますが、日本特許情報機構で もこれらの引用文献の複写物を販売しています。日本特許情報機構に引用文献の複写 物を請求する場合は下記の点に注意してください。

[申込方法] (1) 特許 (実用新案・意匠) 公報については、下記の点を明記してください。

○特許・実用新案及び意匠の種類

○出願公告又は出願公開の年次及び番号(又は特許番号、登録番号)

○必要部数

- (2) 公報以外の文献の場合は、下記の点に注意してください。
  - ○国際予備審査報告の写しを添付してください(返却します)。

[申込み及び照会先]

東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館・弁理士会館ビル 〒100 財団法人 日本特許情報機構 サービス課

TEL 03-3503-3900

特許庁に対して文献の写しの請求をすることができる期間は、国際出願 日から7年です。

2. 各選択官庁に対し、国際出願の写し(既に国際事務局から送達されている場合は除 く)及びその所定の翻訳文を提出し、国内手数料を支払うことが必要となります。 その期限については各国ごとに異なりますので注意してください。(条約第22条、 第39条及び第64条(2)(a)(i)参照)

PCT

#### 国際予備審查報告

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 2639WOOP	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。							
国際出願番号 PCT/JP00/05639	国際出願日 (日.月.年) 23.08.00	優先日 (日.月.年) 24.08.99						
国際特許分類 (IPC) Int. Cl <sup>7</sup> G01N33/566, G01N33/	50, GO1N33/15							
出願人 (氏名又は名称) 武田薬品工業株式	会社							
		·						
1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。								
2. この国際予備審査報告は、この表紀	氏を含めて全部でろ ペー	ジからなる。						
この国際予備審査報告には、附属審類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。     (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で ページである。								
3. この国際予備審査報告は、次の内容	学を含む。							
I X 国際予備審査報告の基礎		•						
Ⅱ    優先権								
III								
IV								
	する新規性、進歩性又は産業上の利用可能	性についての見解、それを裏付けるため						
の文献及び説明 VI b ある種の引用文献	, ,							
VII 国際出願の不備:								
VIII 国際出願に対する意見								

国際予備審査の請求書を受理した日 02.11.00	国際予備審査報告を作成した日 26.01.01		
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	2 J 9 4 0 8	
日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	加々美 一恵		
果尽都干1(四区腹//) 阕二 1 日 4 苷 3 芍	電話番号 03-3581-1101 内	9線 3250	

#### 国際予備審查報告

国際出願番号 PCT/JP00/05639

PCT規則70.    X 出願時の国	•		
	***	ページ、	出願時に提出されたもの
[] 明細書 明細書	第 第	ページ、	国際予備案本の請求書と共に提出されたもの
明和音 明細書	デ 第	ページ、	付の書簡と共に提出されたもの
71/1F E			出願時に提出されたもの
請求の範囲		項、 項、 項、	PCT 1 9条の規定に基づき補正されたもの
請求の範囲		<sup></sup> 項、	国際子農寮本の諸戈婁と共に提出されたもの
- 請求の範囲			付の書簡と共に提出されたもの
請求の範囲			
□ 図面	第	ページ/図	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
図面	第	ページ/図	- はの無額もまに提出されたもの
図面	第		
	己列表の部分 第	ページ、	出願時に提出されたもの
リカを	こ列表の部分 第	ページ、	国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
明細書の配 2. 上記の出願記 上記の書類に 国際調	已列表の部分 第	語でる PCT規則23.1(b)に 必開の言語	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語
明細書の配 2. 上記の出願記 上記の書類に   国際調   PCT   国際予	正列表の部分 第 暦類の言語は、下記に示 は、下記の言語である _ 適でのために提出された F 規則48.3(b)にいう国際 ・備審査のために提出され	す場合を除くほか、 語でる P C T 規則23.1(b)に 公開の言語 hた P C T 規則55.23	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語
明細書の配 2. 上記の出願 上記の書類に 国際調 PCT 国際予 3. この国際出	正列表の部分 第 書類の言語は、下記に示 は、下記の言語である 達のために提出されたF 規則48.3(b)にいう国際 ・備審査のために提出され 願は、ヌクレオチド又は	す場合を除くほか、。 語でる P C T 規則23.1(b)に 公開の言語 nた P C T 規則55.2ま はアミノ酸配列を含ん	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語
明細書の配 2. 上記の出願記 上記の書類記 国際調 P C T 国際 出 3. この国際出	正列表の部分 第	す場合を除くほか、、 語でる PCT規則23.1(b)に 公開の言語 れたPCT規則55.2ま はアミノ酸配列を含ん による配列表	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。
明細書の配 2. 上記の出願記 上記の書類記 国際記 国際で 3. この国際出	配列表の部分 第 事類の言語は、下記に示 は、下記の言語である _ 適査のために提出された F 規則48.3(b)にいう国際 ・備審査のために提出され 願は、ヌクレオチド又は 国際出願に含まれる書面に	す場合を除くほか、、 語でを PCT規則23.1(b)に 公開の言語 nたPCT規則55.23 にアミノ酸配列を含ん による配列表 たフレキシブルディン	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。
明細書の配金 上記の出願記 上記の書類に 上記の書類に 国際ア 日 国際 出 この国際 出 この ローニー	正列表の部分 第	す場合を除くほか、、 語でる PCT規則23.1(b)に 公開の言語 nたPCT規則55.2ま まアミノ酸配列を含ん による配列表 たフレキシブルディス	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 なクによる配列表
明細書の配記 上記の出願記 上記の書類に 上記の書類に 国際です 国際です コニの国際 出口 コニ 出願記 コニ に 田原記 に せいかい ここれ に いいい に いいいい に いいい に いいいい に いいいい に いいいい に いいい に いいい に いいいい に いいい に いいいい に いいい に いいい に いいい に いいいい に いいいいいい	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示 は、下記の言語である _ 適査のために提出された F 規則48.3(b)にいう国際 ・備審査のために提出され 願は、ヌクレオチド又は 国際出願に含まれる書面に 国際出願と共に提出され 後に、この国際予備審査	す場合を除くほか、、 語でる P C T 規則23.1(b)にい 公開の言語 いた P C T 規則55.2 ま はアミノ酸配列を含ん による配列表 たフレキシブルディス (または調査)機関(	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 なクによる配列表 こ提出された書面による配列表
明細書の配置を表現します。 上記の書類に上記の書類に 日本 国 P C 下 国 際 の の 願 経 出 出 出 組 出 照 領 に 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示 は、下記の言語である _ 適合のために提出された F 規則48.3(b)にいう国際 ・備審査のために提出され 願は、ヌクレオチド又は 国際出願に含まれる書い と共に提出に発音され をと、この国際予備審査 をに、この国際予備審査 をに、この国際予備による	す場合を除くほか、。 語でされて P C T 規則23.1(b)にい 公開の言語 いた P C T 規則55.2 ま による配列表 による配列表 たフレキシブルディス (または調査)機関に (または調査)機関に 配列表が出願時におり	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 スクによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 ける国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述
明細書の配置を表現します。 上記の書類に上記の書類に 日本 国 P C 下 国 際 の の 願 経 出 出 出 組 出 照 領 に 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示 は、下記の言語である _ 適合のために提出された F 規則48.3(b)にいう国際 ・備審査のために提出され 願は、ヌクレオチド又は 国際出願に含まれる書い と共に提出に発音され をと、この国際予備審査 をに、この国際予備審査 をに、この国際予備による	す場合を除くほか、。 語でされて P C T 規則23.1(b)にい 公開の言語 いた P C T 規則55.2 ま による配列表 による配列表 たフレキシブルディス (または調査)機関に (または調査)機関に 配列表が出願時におり	この国際出願の言語である。 かる。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 スクによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 ける国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述
明細書の配置を表現である。 上記のの 国 P 国 国 ここ出出出出書書のの願題の回回 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示 は、下記の言語である — は、下記の言語である — 対規則48.3(b)にいう国とれた所 が開審査のために提出いう出された所 が開審査のために提出する出際出場による出願による事 後に、この国に、この国際等面によるとに提出のの表に記載した。	す場合を除くほか、。 語でされて P C T 規則23.1(b)にい 公開の言語 いた P C T 規則55.2 ま による配列表 による配列表 たフレキシブルディス (または調査)機関に (または調査)機関に 配列表が出願時におり	この国際出願の言語である。 かる。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 スクによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 ける国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述
明細書の配置を表する。 上記の国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内国内	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示さ、下記の言語である」 さ、下記の言語である」 連合のために提出された所 規則48.3(b)にいう国と 規則48.3(b)にに提出された所 関は、ヌクレオチド又は 国際出願と共に提出である。 とは、裏にと共に関係を 後に、この国と共に関係を 後に、この国と共に関係を 後に、このの国際である。 とに提出のの国際である。 とによが配った。 によるがあった。 に提出が配った。 によるがあった。	す場合を除くほか、、 語でされて、 P C T 規則23.1(b)にい 公開の言語 いた P C T 規則55.2 ま はアミノ酸配列を含ん による配列表 たフレキシブルディス (または調査)機関に または調査)機関に 配列表が出願時におり 配列とフレキシブル	この国際出願の言語である。 かる。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 スクによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 ける国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述
明細書の配置を表する。 上記のの国際に対し、上記のの国内国際に対し、のの国際に対し、のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示さ、下記の言語は、下記の言語は、下記の言語である」 強則48.3(b)にに提出いう国で、大いのでは、大いいのでは、大いいのでは、大いのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	す場合を除くほか、、 語でされて P C T 規則23.1(b)にい 公開の言語 いた P C T 規則55.2 ま による配列表 による配列表 たフレキシブルディス (または調査)機関に はまたは調査)機関に 配列表が出願時におり 配列とフレキシブル れた。	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 スクによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 ける国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述
明 部 の 国 P 国 国 ここ出出出書書に細 の の 顕顔顔の面の は書書に細 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示さ、下記に示さ、下記の言語は、下むある」 さ、下記の言語 出いったりにしいったりにというに提出いう提出 マクレオチ に 異際出版 と 共 に 異 に と 共 に と 大 に よ と に 上 出 が 配 し に と と に 上 出 が 配 か こ に と し た と に よ る が あ っ た に ま の の し た に よ る が あ っ た に ま の き に よ る が あ っ た に 第	す場合を除くほか、 語で 2 2 2 3 1 (b) にい	この国際出願の言語である。 かる。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 スクによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 ける国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述
明 記記 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示さ、下記に示さ、下記の言語は、下である」 をのために提出いう出いの言語、以下にのに提出いう出いのでは、以下に対して、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	す場合を除くほか、。	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 スクによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 ける国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述 ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述
明記記 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示さ、下記に示さ、下記の言語は、下むのに提出いうにがある」 連貫を表している。 一切を、 一切を	す場合を除くほか、 語で で P C T 規則23.1(b)にいる	この国際出願の言語である。 かる。 いう翻訳文の言語 たは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 なりによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 ける国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳近 ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳近
明記記 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示さ、下記に示さ、下記の言語は、下むのたとというにというにというにというというというというというというというというというというというというというと	す場合を除くほか、 語で で P C T 規則23.1(b)にいる	この国際出願の言語である。 かる。 いう翻訳文の言語 これは55.3にいう翻訳文の言語 これは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 なりによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 する国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳近ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳近
明記記 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	正列表の部分 第 事類の言語は、下記に示さ、下記に示さ、下記の言語は、下むのたとというにというにというにというというというというというというというというというというというというというと	す場合を除くほか、、 語では 語の で	この国際出願の言語である。 ある。 いう翻訳文の言語 これは55.3にいう翻訳文の言語 これは55.3にいう翻訳文の言語 でおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。 スクによる配列表 こ提出された書面による配列表 こ提出されたフレキシブルディスクによる配列表 する国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳近ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳近ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳近

国際予備審査報告

国際出願番号 PCT/JP00/05639

v.	新規性、進歩性又は産業上の利用 文献及び説明	可能性についての法第12条	(PCT35条(2)) に定める	5見解、それを裏付ける 
1.	見解			
	新規性(N)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-3	· 
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-3	
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-3	

#### 2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

国際調査報告で引用した文献1(JP,10-127289,A(武田薬品工業株式会社)19.5月.1998(19.05.98))には、オーファン受容体発現細胞に試験化合物(a)を接触させ、非特異的結合量を減じることでアゴニスト活性を有する化合物を得, 得られたアゴニスト活性を有する化合物とオーファン受容体発現細胞と別の試験化合物を作用させ,該オーファン受容体機能を促進/阻害する化合物をスクリーニングする方法について記載されている。しかしながら、アゴニスト活性を有する化合物の共通構造からリガンド候補物質を推定し,該推定物質をオーファン受容体に接触させた場合と,試験化合物(b)をオーファン受容体に接触させた場合を比較し,該オーファン受容体機能を促進/阻害する化合物をスクリーニングすることについては、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載も示唆もない。

# THIS PAGE BLANK (USPTO)